

サラリーマン川柳(効率化 提案するため 日々残業) (百均で 揃えた物は 父の物) (「若い」けど つごうの良い時 「もう年ね...」) (木枯らしや 迷子の枯れ葉 往き戻り)



連合中越地協第30回年次総会が、11月12日(木)午後3時からホテルニューオータニ長岡で開催された。総会にはマスク着用、

# 21年度重点課題等を決定

## 連合中越地協第30回年次総会開く



第1057号2020.12.1  
連合中越地域協議会  
長岡市愛宕3-7-24  
TEL 0258-86-0111  
FAX 0258-86-0884  
発行人 矢島 良彦  
定価 1部10円  
購読料は会費に含む



手指消毒、検温、席間隔を広くとり入口も開け対策を施した。午後3時、羽賀副議長の開会挨拶で、永井代議員(電機連合)と佐藤代議員(情報労連)を議長に選出して開会。矢島議長は挨拶で、「2020年春闘だという時期にコロナの問題が入ったが、後発グループは厳しく、苦しい賃上げ闘争であった」とことや、「メーデーはリモート開催。地区大会を中止したが、今年メーデー100周年にあたることから、通常年より多い9団体に地域貢献活動として寄贈した」と等を述べた。また、「パーソナルサポート事業について、昨年の倍の相談が寄せられている」と等と地域内の生活困窮者実態や、ライフサポート事業について「県労協では相談窓口を長岡に拠点化していく構想

がある」等を述べ、挨拶の終わりで、19年間副議長を務めた退任される羽賀副議長に感謝を述べ、各構成組織からの地域運動の展開に協力を求めた。続いて来賓として、牧野連合会長と磯田長岡市長から祝辞が述べられた。

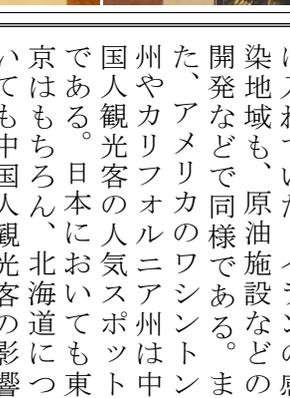


次に齋藤資格審査兼議事運営委員長の報告を受け第30回年次総会成立を確認した。早速、2020年度



活動報告、決算報告が小林事務局長から、監査報告が権澤会計監査員から報告され、拍手多数で承認された。続いて、1号議案2021年度重点課題と2号議案2021年度予算案が提案され、挙手多数で決定した。特に、コロナ禍における地協運動として「今までの運動スタイルにこだわらず、知恵をしぼり『地域に根ざした顔の見える運動』を進めていくことが強調された。

「役員の一部交代に関する件」を小堀副議長が提案、第4号議案「退任役員の表彰に関する件」を横澤副議長が提案し決定した。



その後、第3号議案「役員の一部交代に関する件」を小堀副議長が提案、第4号議案「退任役員の表彰に関する件」を横澤副議長が提案し決定した。

令和2年も残すところ、ひと月となった。皆さんにとってどんな1年であったでしょう。本コラムでも、数々取り上げられてきたが、今回はコロナの始まり頃を遡ってみたい。2020年1月末から、世界は中国発の新型コロナウイルスという脅威に直面し、大混乱に陥った。今回の感染拡大は中国と関係が深いエリアが中心になっており、イタリアの北部は、革製品の加工や縫製のために中国から多くの出稼ぎ労働者を受け入れていた。イランの感染地域も、原油施設などの開発などで同様である。また、アメリカのワシントン州やカリフォルニア州は中国人観光客の人気スポットである。日本においても東京はもちろん、北海道についても中国観光客の影響が大きいといえる。春節時の帰省や旅行で多くの中国人が移動したのは間違いなく、このウイルスに対し、日本の対応は2月27日、全日本の小中高・特別支援学校に3月2日から春休みまで休校を要請。3月5日、中国、韓国からの入国者に2週間の待機を要請。3月10日、イベント自粛は10日間程度の延長を要請。イタリ

前幹事が想いをこめて挨拶し、新任の野田新副議長と花垣新幹事が決意を述べた。すべての議事を終え、猪股副議長が閉会あいさつを行い、矢島議長の前副議長と佐野

で年次総会を終えた。総会会場入口には、S J ネット委員会が収穫したジャガイモの販売コーナーが設置され、総会前や休憩時、終了後に購入を呼びかけ完了した。

あつご3



幹事(教宣文化) 村越研人

